

令和6年度小浜小学校学校評価書

～「わが校評価(学校評価)」の報告～

小浜市立小浜小学校

1 はじめに

本校では、教育目標に「いきいき!! キラキラ!! みんな みがこう」を掲げ、「スクールプラン」の重点目標達成に向けて、教育活動を推進してきた。「わが校評価」では、「スクールプラン」に示した具体的な取組毎に目標指数を設定し、教育活動に対する総合的評価を実施した。「わが校評価(年度末)」結果をもとに、改善策を見いだし、より充実した学校運営に取り組むとともに、児童のよりよい成長につながる教育活動を展開していく。

2 重点取り組みについて

わが校評価(中間)の結果から、特に以下の3点については、保護者に知らせるとともに年度末に向けて取組を進めてきた。取組内容は以下のとおりである。

【取組1】

あいさつの意義を理解して、自分から元気にあいさつができる児童の育成に取り組む。

- 中間評価の分析から「児童はあいさつをしていると思っているが、大人の考えるあいさつには至っていない」と考えた。実際に、地域の方から「毎朝あいさつしてくれる子もいるが、そうでない子もいる」との指摘もあった。数値結果としては、中間結果から年度末結果は上がった。委員会を中心としたあいさつ運動や教職員が率先してあいさつをしている効果が表れてきていると考えられる。具体的には、今年度は委員会ごとに曜日を決め、毎朝、児童玄関であいさつ運動を行ってきた。また、集団下校前には、担当教員から地域の方に向けてあいさつをしていくことの大切さを定期的に伝えた。2月に実施した不審者対応訓練の際には「あいさつが不審者を寄せつけないことの一つになる」という児童の言葉からつなげ、あいさつの指導も行った。今後も、学級や全体、行事等で、繰り返し粘り強く指導したり声かけをしたりし、小浜小や地域、家庭が気持ちのよいあいさつの声であふれることをめざしていく。

【取組2】

確かな学力の育成につなげるために、基礎学力の定着をめざす。

- 中間の報告では、「一学期の学習内容の未定着や家庭での取組(練習)が結果の差に表れたと考える。」と保護者に伝えた。冬休み明けテストは、休み前から家庭にも協力を仰いだ結果、ほとんどの学級で9月の結果より合格率(90点以上)が上昇した。また、実情や結果に応じて再テストや細やかな指導を実施し、90点以上達成をめざした。
- 11月より基礎学力強化タイムを設けた(対象児童)。効果を数値では測れないが、児童の「わかった!」「次は一人でできそう!」というつぶやきから、この時間が有効であったと実感している。今後、どのような形で実施していくかを検討していく。

【取組3】

「メディアのルールづくり」に参画し守ることを通して、生活習慣の定着や家庭学習時間の確保、自律心の育成に取り組んでいく。

- 中間の報告では「11月より、毎月〇日はメディアのルールデー(仮名)として、保健だよりで知らせ、代わりに読書、お手伝い、家族団らん、運動等の有意義な活動を勧めたり児童から代わりの活動のよさを紹介したりする取組を行うこと」を提案した。年度末の結果は、全体の数値を見ると前回と変わらないが、メディアのルールをしっかり守っていると回答した児童の割合が16%から42%と激増した。毎月15日の「メディアコントロールデー」が功を奏していると考えられる。日を固定すると週末に当たるときもあるため、毎月第2水曜日のような設定にすると、より良好な結果につながるでであると考え。今後、「メディアのルール」について児童と話し合い、ルールを日常的に守ることができるよう、引き続き家庭にも協力を仰いだ。

3 学校教育目標とスクールプランに基づく「わが校評価(学校評価)」について(分析・考察)

(1) 信頼される学校(顔の見える教育活動)

① 地域の資源活用

「活用し、学習活動に生かしている」と答えた教職員は100%と目標に達している結果である。今後も引き続き、地域の教育資源を活用した教育活動の推進に取り組んでいく。

② 小さな貢献

児童86%、教職員100%と目標に達している結果であった。高学年(5・6年)を抽出すると91%の肯定的回答を得られたという点からも、特に高学年において学習の成果が上がっていると考えられる。そのことは、今後のねらいである「地域と共に(地域参画)」につながる礎となる。今後も、「地域と共に」という視点で貢献したり参画したりできる児童の育成をめざしていく。

③ 学校の情報発信

97%の保護者から「学校の情報や様子が分かる」との肯定的回答を得られた。今後も引き続き、各種通信、メール連絡、ホームページ、担任との連絡等を通して必要な情報や学校生活の様子が保護者の皆様に伝わるように努めていく。

(2) 認め合う心を育てる(ふるさと・キャリア・道徳教育の充実)

① 学校が楽しい

児童・保護者ともに90%以上の肯定的回答を得られた。特に「楽しくない」と感じている児童の様子や変化を把握し、さらなる児童理解に努める。また、教育相談等で児童と個別に話し、思いを受け止めるということを継続して行っていく。

② 自分からあいさつ

92%の児童が「自分から元気にあいさつできている」と回答した。保護者の肯定的な回答は76%(中間)から81%(年度末)に向上した。毎朝、委員会によるあいさつ運動を行った結果、学校内では活発なあいさつができるようになってきている。委員会活動(あいさつ運動)を継続して取り組むとともに、今後も機会があるごとに指導や声かけをしていく。※重点

③ ふるさとが好き

保護者94%、児童94%(好き)、教職員100%と目標を達成した。特に高学年において、小浜のよさや課題を見つけたり伝えたりしている児童が増えた。また、結果から、全体的には学習発表会に向けた学習の中で、児童の意識が高まり、数値が上がったと考えられる。伝えることで、考えが深まったり良さを再認識したりできることから、今後も総合的な学習の時間や校外学習等で伝える場を設けていく。また、教師が意識して、児童の意見や発言、取組を価値付けしてふるさと学習がさらに深まるようにしていく。

④ 自己有用感

保護者98%、児童95%、教職員100%と目標を十分達成した。家庭では頑張りを認め・励まし、学校では丁寧で細かな指導を行っていることが結果につながっていると考えられる。今後も児童に寄り添いよさを伸ばす指導を心がけていく。

(3) 確かな学力を育てる(資質・能力を育む授業づくり、基礎基本の定着、読書活動の推進)

① 授業が分かる

保護者85%、「授業が分かる」については児童95%と目標値を超えた。中間の報告後に指導方法を検討し、TT(チームティーチング)を中・高学年に拡大したり、2～6年の算数において少人数学習を行ったりした。日々の学習においても、個別に対応し課題を見だし細かな指導をすることで、「授業が分かる」児童が増えるとともに、基礎学力の向上も期待できると考える。

② 漢字・計算

保護者83%、児童93%と目標値を超えた。中間報告で「時間の許す限り再テストを実施し、家庭にも協力を仰ぎ、90点以上達成をめざすための手立てを講じる」と述べ、家庭にも協力を仰いだ。学校では、事前に繰り返し練習する、再テストを行うなど、学級の実態に応じて手立てを講じた。全体的には合格者が増え、個人の点数も上がった。今後も基礎基本の定着のための手立てを講じる。※重点

③ タイピング

児童81%、教職員89%という結果で、どちらも中間より下がった。休み時間やドリルが早く終わった後などに個人的に練習している児童はいるが、全体としての具体的な取組を行うことができなかった。タイピングテストが後期に計画されていなかったことも、数値が下がった原因と考えられる。今後、児童のタイピング

習熟率を測った上で、手立てが必要であれば対策を立てる。

④読書意欲の向上

保護者76%、児童91%(本の紹介)、児童59%(読書目標)、教員80%(読書指導)という結果であった。保護者にも「OBAMA チャレンジ」や「週末読書」等で、協力を仰いだ。「本の紹介」は2学期もほぼ全児童が取り組んだ。それについては継続を考えている。「読書目標」については、「冊数・ページ数の設定をやめ推薦図書から冊数を指定する項目にする」という提案が出た。その方向で検討する。今後も朝読書や読み聞かせ、授業の中で読書の推進に取り組んでいく。

(4) 健康な体・望ましい食習慣を育てる(体力づくり、健康・安全教育の推進・充実)

①望ましい生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)

中間結果と同様に、基本的な生活習慣が身についていると言える。「OBAMAチャレンジ」や「お手伝いBINGO」の保護者のコメント(励ましの言葉)から、親子で取り組んでいる家庭が多いことがうかがえた。「お手伝い」については、保護者63%、児童70%、教職員60%という結果で、目標値(80%)は下回っているが、今後も「OBAMAチャレンジ」や「お手伝いBINGO」の取組を継続していくことで意識も向上していくと考える。

②メディアのルールづくり

保護者79%、児童79%、教職員91%という結果で、ほぼ目標を達成できた。今後もメディアを活用することのよさや弊害、ネットモラルなどを引き続き指導していく。しかし、「OBAMA チャレンジ」期間だけ、もしくはその期間も守れていない児童が合わせて1/5いた。この結果は前年度からあまり変わっていない。保護者の意識は中間から約10%向上しているので、今後も家庭を巻き込んだ取組が効果的だと考える。引き続き、家庭での協力(声かけや話し合い)を仰いだ。※重点

③運動・体力向上

児童97%、教職員100%と目標を十分達成しており、中間と同様良好な結果であった。「積極的にがんばっている」と回答している児童が中間よりも増えた。今後も引き続き、運動・体力の向上に取り組んでいく。

4 課題と具体的な方策

(1) 認め合う心を育てる(互いを認め思いやり、笑顔あふれる学校・学級づくりについて)

各学級に精神面での困り感や学習面でのつまずきのある児童が一定数いる。担任だけではなく、さらに組織として関わり、解決をしていく必要がある。

方策

- ・個に応じた指導の充実を推進する。学習上のつまずきの把握、タブレット(アプリ)の活用、よりよいシートの活用、通級、特別支援教育など
- ・学校内での支援体制を機能させる。運営委員会、校内支援委員会など
- ・スクールカウンセラーや関係機関との連携を密にし、情報を共有したり助言を求めたりして課題解決に努める。

(2) 確かな学力を育てる(学びのDXを取り入れ、全員参加を目指した授業づくりについて)

研究の内容として、①児童全員が授業に参加をしているという理想の姿を教師集団が共有すること、②DXについて、学習のどの場面でどのように活用するのか、知見を広げ深めること、③ICT機器を使ったり、様々なアプリケーションの使い方を理解したりという教師のスキルを向上させることに重点を置いて、校内研究を推進した。「全員が授業に参加する」理想の姿のイメージ化は共有できつつある。しかし、基礎基本の定着(読解力、書く力、漢字・計算力、タイピング力)が確実に向上したとは言えなかった。また、SASAや全国学力調査、日頃の児童の様子から見える課題も明らかになってきたので、その改善策も立てる必要がある。

方策

- ・来年度の校内研修のあり方について推進委員会を立ち上げ協議する。
- ・推進委員会で協議した内容を令和6年度中に全体に下ろし、具体的な方策を立てる。
- ・SASAや全国学力調査、日頃の児童の様子から見える課題から研究の方向性を見いだす。
- ・小浜小型3S学習についてどのように継続するかを協議し共通理解する。

(3) 健康な体・望ましい食習慣を育てる(望ましい生活習慣の確立について)

ネットの長時間利用(SNSでのやり取りや動画視聴等)が生活に支障を来す場合があることから、学習以

外の利用については、生徒指導上の課題として捉えている。「OBAMAチャレンジ」期間も児童の5分の1が決めたルールを守れていないことから、日常の使い方にはさらに課題（生活に支障を来すこと）があると考えられる。

方策

- ・関係機関からのたよりやチラシを児童・保護者に配布し、継続的に啓発活動を行う。
- ・授業の中でインターネットの利便性や影響について主体的に考えさせ、自分事としてルールを決める機会をもつ。
- ・家族で生活習慣を見直す取組として「OBAMAチャレンジ」を継続する。
- ・11月より取り組んでいる「毎月〇日はメディアのルールデー」を継続する。

(参考資料)

- ・令和6年度小浜市立小浜小学校スクールプラン
- ・小浜小学校令和六年度学校評価総合シート



【小浜小学校】令和6年度学校評価〔総合シート〕

項目	学校経営の重点	評価・目標指数	対象	選択内容	中間結果	年度末結果
信頼される学校	領の見える教育活動	地域の資源活用 学習活動を充実させるために、地域の資源（自然、施設、団体、他校、人材）を活用している。中間…計画、年度末…実践（行動）※担任、関係教科担任、教務 ①+②の合計が80%	教職員	①積極的に活用し、学習活動を充実させることができている。 ②活用し、学習活動に生かすことができている。 ③活用したが、学習活動に生かすことができている。 ④活用していない。	23% 69% 8% 0%	23% 77% 0% 0%
		小さな地域貢献 学校や地域のために役に立つことを考えたり行動したりするなど、何か自分ができることに取り組んでいる。中間…計画、年度末…実践（行動） ①+②の合計が80%	児童	①進んで取り組んでいる。 ②取り組んでいる。 ③あまり取り組んでいない。 ④取り組んでいない。	34% 50% 14% 2%	34% 52% 13% 1%
		学校や地域に役立つための学習活動を計画し実践している。※担任、関係教科担任、教務 ①+②の合計が80%	教職員	①計画通り実践し、めあてを達成できた。 ②ほぼ計画通りに実践できた。 ③計画は立てたが、あまり実践できなかった。 ④実践できなかった。	31% 69% 0% 0%	17% 83% 0% 0%
		情報発信 学校からの各種通信やメール連絡、ホームページ、担任との連絡等から、必要な情報や学校生活が分かりやすく伝わっている。 ①+②の合計が85%	保護者	①よく伝わっている。 ②だいたい伝わっている。 ③あまり伝わっていない。 ④伝わっていない。	27% 67% 6% 0%	58% 39% 3% 0%
		保護者や地域に対し、通信やメール連絡、ホームページ、会議、面談等を通して、必要な情報や学校の様子を積極的に伝えている。※全教職員 ①+②の合計が85%	教職員	①積極的に伝えている。 ②伝えている。 ③あまり伝えていない。 ④伝えていない。	60% 33% 7% 0%	36% 64% 0% 0%
	ふるさと・キャリア・道徳教育の充実	子どもは、学校へ行くのを楽しんでいる。 ①+②の合計が90%	保護者	①楽しいと感じている。 ②どちらかといえば、楽しいと感じている。 ③どちらかといえば、楽しいと感じていない。 ④楽しいと感じていない。	52% 40% 5% 3%	40% 54% 5% 1%
		学校は楽しい。 ①+②の合計が90%	児童	①楽しい。 ②どちらかといえば、楽しい。 ③どちらかといえば、楽しくない。 ④楽しくない。	71% 20% 8% 1%	67% 25% 5% 3%
		児童が楽しく学校に通えるような工夫をしたり、児童の小さな変化に気づき個別に話し合う時間を持つたりしている。※担任、関係教科担任、教務 ①+②の合計が90%	教職員	①十分に行っている。 ②行っている。 ③あまり行っていない。 ④行っていない。	50% 50% 0% 0%	57% 36% 7% 0%
		子どもは、身近な人に自分から元気よくあいさつをしている。 ①+②の合計が85%	保護者	①いつもしている。 ②だいたいしている。 ③あまりしていない。 ④していない。	23% 53% 21% 3%	21% 60% 18% 1%
		身近な人に自分から元気に、あいさつができています。 ①+②の合計が85%	児童	①よくできている。 ②できている。 ③どちらかといえば、できていない。 ④できていない。	42% 47% 8% 3%	44% 48% 6% 2%
		身近な人に子どもが自分から元気よくあいさつができるよう指導している。※全教職員 ①+②の合計が85%	教職員	①常に意識して指導している。 ②指導している。 ③あまり指導していない。 ④指導していない。	38% 62% 0% 0%	60% 40% 0% 0%
		子どもは、ふるさと（小浜）が好きである。 ①+②の合計が80%	保護者	①ふるさと（小浜）が好きである（ふるさと学習が楽しい）。 ②どちらかというが好きである（どちらかというと楽しい）。 ③どちらかというが好きではない（どちらかというと楽しくない）。 ④好きではない（楽しくない）。	43% 52% 4% 1%	43% 51% 4% 2%
		ふるさと（小浜）が好きである。 ①+②の合計が85%	児童	①ふるさと（小浜）が好きである（ふるさと学習が楽しい）。 ②どちらかというが好きである（どちらかというと楽しい）。 ③どちらかというが好きではない（どちらかというと楽しくない）。 ④好きではない（楽しくない）。	67% 27% 4% 2%	65% 29% 3% 3%
認め合う心を育てる	ふるさと・キャリア・道徳教育の充実	ふるさと（小浜）のよさや課題を見つけたり自慢できることを伝えたりしている。 ①+②の合計が85%	高学年児童	①見つけたり伝えたりしている。 ②だいたいしている。（どちらかはしている。） ③あまりしていない。 ④していない。	39% 41% 18% 2%	48% 37% 13% 2%
		地域の協力を得ながら、ふるさとを愛する心を育てようとしている。※担任、関係教科担任、教務 ①+②の合計が85%	教職員	①十分取り組んでいる。 ②だいたい取り組んでいる。 ③あまり取り組んでいない。 ④取り組んでいない。	29% 64% 7% 0%	36% 64% 0% 0%
		子どもは、学校行事や学級活動、委員会、クラブなどに進んで取り組み、学級や学校のためにがんばろうとしている。※全教員 ①+②の合計が85%	保護者	①進んで取り組み、学級や学校のためにがんばっている。 ②どちらかといえば取り組み、学級や学校のためにがんばっている。 ③どちらかといえば取り組んでいない。 ④取り組んでいない。	39% 56% 5% 0%	43% 55% 2% 0%
		学校行事や学級活動、高学年は委員会、クラブなどにも進んで取り組み、学級や学校のためにがんばろうとしている。 ①+②の合計が85%	児童	①進んで取り組み、学級や学校のためにがんばっている。 ②どちらかといえば取り組み、学級や学校のためにがんばっている。 ③どちらかといえば取り組んでいない。 ④取り組んでいない。	54% 40% 4% 2%	54% 41% 4% 1%
		特別活動において、児童が主体的に取り組む活動を組み立て、児童の自己有用感を高めるように指導している。※担任、関係教員 ①+②の合計が85%	教職員	①常に意識して指導している。 ②指導している。 ③あまり指導していない。 ④指導していない。	31% 61% 0% 8%	46% 54% 0% 0%
	自己有用感	子どもは、学校行事や学級活動、委員会、クラブなどに進んで取り組み、学級や学校のためにがんばろうとしている。※全教員 ①+②の合計が85%	保護者	①進んで取り組み、学級や学校のためにがんばっている。 ②どちらかといえば取り組み、学級や学校のためにがんばっている。 ③どちらかといえば取り組んでいない。 ④取り組んでいない。	39% 56% 5% 0%	43% 55% 2% 0%
		学校行事や学級活動、高学年は委員会、クラブなどにも進んで取り組み、学級や学校のためにがんばろうとしている。 ①+②の合計が85%	児童	①進んで取り組み、学級や学校のためにがんばっている。 ②どちらかといえば取り組み、学級や学校のためにがんばっている。 ③どちらかといえば取り組んでいない。 ④取り組んでいない。	54% 40% 4% 2%	54% 41% 4% 1%
		特別活動において、児童が主体的に取り組む活動を組み立て、児童の自己有用感を高めるように指導している。※担任、関係教員 ①+②の合計が85%	教職員	①常に意識して指導している。 ②指導している。 ③あまり指導していない。 ④指導していない。	31% 61% 0% 8%	46% 54% 0% 0%
		子どもは、学校行事や学級活動、委員会、クラブなどに進んで取り組み、学級や学校のためにがんばろうとしている。※全教員 ①+②の合計が85%	保護者	①進んで取り組み、学級や学校のためにがんばっている。 ②どちらかといえば取り組み、学級や学校のためにがんばっている。 ③どちらかといえば取り組んでいない。 ④取り組んでいない。	39% 56% 5% 0%	43% 55% 2% 0%

【小浜小学校】令和6年度学校評価〔総合シート〕

項目	学校経営の重点	評価・目標指数	選択内容	中間結果	年度結果
豊かな学力を育てる	資質・能力を育む授業づくり、基礎基本の定着、読書活動の推進	授業が分かる	子どもは、「授業が分かる」と言っている。	①「分かる」と言っている。 32% ②どちらかといえば「分かる」と言っている。 51% ③どちらかといえば「分からない」と言っている。 16% ④「分からない」と言っている。 1%	33% 82% 14% 1%
			①+②の合計が80%	83% 82% 14% 1%	85% 82% 14% 1%
			授業で自分の考えをもって学習し、授業が分かる。	①授業がよく分かる。 49% ②だいたい分かる。 41% ③あまり分からない。 7% ④分からない。 3%	46% 49% 4% 1%
			①+②の合計が80%	90% 90% 4% 1%	95% 90% 4% 1%
		漢・計・タイピング	児童が自分の考えをもって学習し、考えを深めようとする授業を行っている。※栄養・養教含む全授業者	①計画し、十分に行っている。 21% ②計画し、ほぼ行っている。 72% ③あまり行っていない。 7% ④行っていない。 0%	33% 67% 0% 0%
			①+②の合計が90%	93% 93% 0% 0%	100% 93% 0% 0%
			子どもは、学年相応の計算力や漢字力（全学年）、タイピング能力（4～6年）がついている。	①十分ついている。 23% ②どちらかといえば、ついている。 56% ③どちらかといえば、ついていない。 20% ④ついていない。 1%	24% 58% 15% 2%
			①+②の合計が90%	79% 79% 15% 2%	83% 79% 15% 2%
		タイピング	漢字・計算力テストに向けて、目標や計画を立て、合格に向けて努力している。（再テストも含む）	①合格に向けて十分努力している。 55% ②合格に向けて努力している。 37% ③合格に向けてあまり努力していない。 7% ④努力していない。 1%	57% 36% 6% 1%
			①+②の合計が90%	92% 92% 6% 1%	93% 92% 6% 1%
			タイピングコンテストに向けて、目標や計画を立て、達成に向けて努力している。	①目標達成に向けて十分努力している。 39% ②目標達成に向けて努力している。 47% ③目標達成に向けてあまり努力していない。 9% ④努力していない。 5%	37% 44% 16% 3%
			①+②の合計が90%	86% 86% 16% 3%	81% 86% 16% 3%
		学習	学年相応の漢字力や計算力が身につくよう計画的に指導を行っている。※担任	①計画的に指導を行っている。 67% ②機会ごとに指導を行っている。 33% ③あまり指導していない。 0% ④指導を行っていない。 0%	90% 10% 0% 0%
			①+②の合計が90%	100% 100% 0% 0%	100% 10% 0% 0%
			学年相応のタイピング能力が身につくよう計画的に指導を行っている。※4～6年担任	①計画的に指導を行っている。 17% ②機会ごとに指導を行っている。 83% ③あまり指導を行っていない。 0% ④指導を行っていない。 0%	11% 78% 0% 0%
			①+②の合計が90%	100% 100% 0% 0%	88% 78% 0% 0%
		読書意欲の向上	全国学調・県学調結果の分析結果を基に学習指導を行っている。※3～6年担任、関係教科担任	①計画的に指導を行っている。 14% ②機会ごとに指導を行っている。 86% ③あまり指導を行っていない。 0% ④指導を行っていない。 0%	0% 78% 22% 0%
			①+②の合計が90%	100% 100% 0% 0%	78% 78% 22% 0%
			我が家では、子どもが家庭で読書をするように動いている。	①「OBAMAチャレンジ」「週末読書」期間だけでなく日頃から動いている。 32% ②「OBAMAチャレンジ」「週末読書」期間は動いている。 43% ③あまり動いていない。 18% ④動いていない。 7%	34% 42% 21% 3%
			①+②の合計が80%	75% 75% 21% 3%	76% 75% 21% 3%
健康な体・望ましい食習慣を育てる	体力づくり、健康・安全教育の推進・充実	読書意欲の向上	おすすめの図書を見つけて、紹介することができた。	①おすすめの図書を見つけて、紹介することができた。 83% ②おすすめの図書を紹介することができなかった。 17%	91% 9% 0% 0%
			①が80%	83% 17%	91% 9%
			読書目標を達成することができた。	①読書目標を達成することができた。（4月～9月、1月末：各学年の目標） 68% ②読書目標を達成することができなかった。（4月～9月、1月末：各学年の目標） 32%	59% 41% 0% 0%
			①が80%	68% 32%	59% 41%
		望ましい生活習慣	朝読書や授業、「OBAMAチャレンジ」「週末読書」を通して、子どもが本に親しむことができるように指導している。※担任、養教	①日頃から積極的に指導している。 33% ②「OBAMAチャレンジ」「週末読書」を通して指導している。 56% ③あまり指導していない。 11% ④指導していない。 0%	30% 50% 20% 0%
			①+②の合計が80%	89% 89% 20% 0%	80% 89% 20% 0%
			子どもは、基本的な生活習慣（決まった時刻に就寝・起床する、朝食をとる）が習慣が身についている。	①日頃からしっかり身につけている。 33% ②日頃からだいたい身につけている。 59% ③「OBAMAチャレンジ」期間は身につけている。 7% ④身につけていない。 1%	34% 57% 6% 3%
			①+②の合計が90%	92% 92% 6% 3%	91% 92% 6% 3%
		メディアのルールづくり	早寝早起きをし、朝ご飯を食べて登校している。	①日頃からしっかり身につけている。 54% ②日頃からだいたい身につけている。 33% ③「OBAMAチャレンジ」期間は身につけている。 11% ④身につけていない。 2%	53% 36% 9% 3%
			①+②の合計が90%	87% 87% 9% 3%	88% 87% 9% 3%
			基本的な生活習慣についての指導ができています。※担任、栄養、養教	①日頃から十分に指導している。 46% ②日頃から機会を見て指導している。 54% ③「OBAMAチャレンジ」期間は指導している。 0% ④指導していない。 0%	67% 33% 0% 0%
			①+②の合計が90%	100% 100% 0% 0%	100% 33% 0% 0%
		運動・体力向上	家庭で役割分担をして、お手伝いを行うように働きかけている。	①日頃からしっかり働かせている。 10% ②日頃からだいたい働かせている。 48% ③「OBAMAチャレンジ」期間は働かせている。 34% ④働かせていない。 8%	14% 58% 28% 2%
			①+②の合計が80%	58% 58% 28% 2%	70% 58% 28% 2%
			家では、お手伝いを行っている。	①日頃からしっかり行っている。 35% ②日頃からだいたい行っている。 41% ③「OBAMAチャレンジ」期間は行っている。 18% ④行っていない。 6%	30% 50% 19% 1%
			①+②の合計が80%	76% 76% 19% 1%	80% 76% 19% 1%
		運動・体力向上	児童に、家庭でのお手伝いについての指導ができています。※担任、養教	①日頃から十分に指導している。 46% ②日頃から機会を見て指導している。 34% ③「OBAMAチャレンジ」期間は指導している。 13% ④指導していない。 7%	0% 91% 9% 0%
			①+②の合計が80%	80% 80% 9% 0%	91% 80% 9% 0%
			家庭で、子どもがゲームやSNS、インターネットをする時間や約束を決めて、守らせている。	①日頃から時間やルールを決めて、しっかり守らせている。 20% ②日頃から時間やルールを決めて、だいたい守らせている。 50% ③「OBAMAチャレンジ」の期間は守らせている。 30% ④守らせていない。 0%	21% 58% 15% 6%
			①+②の合計が80%	70% 70% 15% 6%	79% 70% 15% 6%
		運動・体力向上	家で、ゲームや動画など、インターネットの使い方について約束を守っている。	①日頃から時間やルールを決めて、しっかり守っている。 16% ②日頃から時間やルールを決めて、だいたい守っている。 64% ③「OBAMAチャレンジ」の期間は守っている。 17% ④守っていない。 3%	42% 37% 17% 4%
			①+②の合計が80%	80% 80% 17% 3%	79% 80% 17% 3%
			児童にゲームやSNS、インターネットの使い方について指導ができています。※担任、養教	①日頃から十分に指導している。 30% ②日頃から機会を見て指導している。 50% ③「OBAMAチャレンジ」期間は指導している。 20% ④指導できていない。 0%	27% 64% 9% 0%
			①+②の合計が80%	80% 80% 9% 0%	91% 80% 9% 0%
		運動・体力向上	体育の行事や業間活動を力いっぱいがんばっている。	①積極的にがんばっている。 65% ②どちらかといえばがんばっている。 30% ③どちらかといえばがんばっていない。 3% ④がんばっていない。 1%	73% 24% 3% 0%
			①+②の合計が90%	95% 95% 3% 0%	97% 95% 3% 0%
			業間活動や体育的行事に、児童が意欲的に取り組むよう指導している。※担任	①計画し、十分に指導している。 44% ②計画し、指導している。 56% ③あまり指導できていない。 0% ④指導できていない。 0%	50% 50% 0% 0%
			①+②の合計が90%	100% 100% 0% 0%	100% 50% 0% 0%